

## 毎月第2火曜日に雇用支援ネットワーク会議 「実務担当者会」を実施しています。

杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議「実務担当者会」を毎月第2火曜日の16:30~18:30にワークサポート杉並でおこなっています。



「実務担当者会」は杉並区内の就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所、ハローワーク新宿、特別支援学校などの支援員が就労についての事例や課題の共有、検討を通じて、支援力の向上を図っています。

令和3年6月8日第3回「実務担当者会」では、グループワークをしながら杉並区の社会資源について学びました。(各写真のとおり)



この「実務担当者会」を通じて、関係機関同士の連携を強化し、障害のある方が働きながら安心して地域で暮らせるよう支援体制を作っていきます。



## 夜間の就労相談窓口のご案内について

就労前と就労後のご相談等の増加に伴いまして、原則週2日、就労相談時間を延長して夜間の就労相談を実施していますのでご利用下さい。詳しくは下記をご覧ください。

◇夜間相談時間 毎週火・木曜日の午後5時~7時(祝日、年末年始休みを除きます)

◇対象となる方 杉並区在住の就労中または就労を希望する障害のある方

◇実施方法 ①電話相談 電話：03-5346-3250  
②来所相談 場所：杉並区高井戸東4-10-26 ワークサポート杉並

◇事前予約 ②来所相談の方は事前に、午前8時30分~午後5時に電話または窓口等で予約が必要です。詳しくは下記のとおりです。  
注1：1回の相談時間は基本的に30分以内です。  
注2：予約状況によっては、希望する日時の予約ができない場合があります。  
注3：事前予約のない方の夜間の来所相談はできません。

## 令和3年度 ワクサポ広場について

ワークサポート杉並の定着支援を受けながら就労している、知的障害の方向けの余暇支援活動「ワクサポ広場」（毎月第1・第3金曜日 18:30～20:00）は、コロナウィルス感染の状況を踏まえ、本年度はA・Bの2グループ（定員各25名）に分け、開催時間も19:00～20:00に短縮しておこなうこととなりました。

4月16日（金）に今年度初めてのAグループのプログラムをおこないましたが、緊急事態宣言が発令され、しばらく休止しておりました。

その後、緊急事態宣言は延長となりましたが、このような時だからこそ余暇活動を望まれる声も多く、職員間で検討を重ねた結果、更なる感染予防対策の徹底を確認して、6月4日（金）にBグループのプログラムから再開しています。

久しぶりの開催に、近況報告ではたくさんの話題で盛り上がりました。

今後も感染状況の確認と予防を徹底し、可能な限り開催したいと思っております。



南雲常務よりご挨拶

## 知的障害の方の交流会を開催しました

定着支援を受けながら就労している知的障害の方が集う交流会を、6月6日（日）ワークサポート杉並の会議室で開催しました。

昨年度はコロナウィルス感染の影響で開催を見送りましたが、感染予防対策として午前と午後の2部制とし、定員は各部15名でご案内したところ、定員を大きく上回る応募があり、可能な限り全員に参加していただくために「昼の部」も設けました。

当日は、マスク着用、検温、手洗い、うがい、手指消毒を徹底し、座席の間隔も確保してプログラムを進めました。

「森のくまさん」のメロディの合間に手拍子をし、その手拍子の回数を1～5回に増やしていくプログラムでは、声を出せない代わりに、手の平が赤くなるくらい元気な手拍子でした。

「しりとりビンゴ」は9マスにひらがなが一文字ずつ書いてあり、しりとりで出た言葉の最後のひらがながマスの文字に合うかでビンゴを競いました。

手洗い、うがいの様子に課題も感じられましたが各部共に多いに盛り上がり「楽しかった！また来ます」と笑顔で帰る姿に職員も「やってよかった」と励まされました。



リズムに合わせて、みんなで手拍子

就職しました（4月・5月）

一般事務・事務補助 9名 軽作業 1名

新しい職員が加わりました

パート職員 金澤職員（5月10日付入職）

計 10名

写真については、ご本人の了解を得て掲載しています。